

# 1 地域で支え合う 福祉のまちの再興

市民の悩みの解決に向けたサポート体制を強化し、安心して暮らせる環境づくりを進めます。



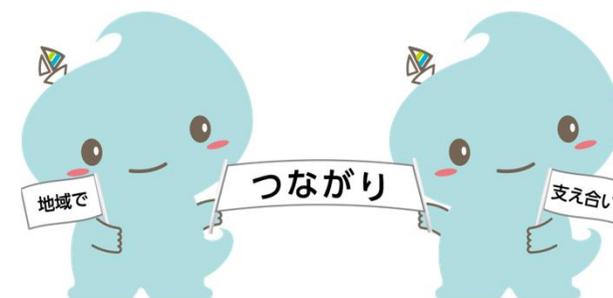
1 安全・安心のまちづくり

2 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり

3 人生100年時代に向けた健康づくり

4 新しいつながりによるコミュニティの活性化

5 地域の支え合いに対する支援



# 1. 安全・安心のまちづくり

## 01 防災備蓄基地の整備

新規

314,978 千円

市長室  
危機管理課

備蓄物資を一元管理し、震災直後から震災時避難所へ迅速に支援物資を搬送する防災備蓄基地をエコミル敷地内に整備します。

**(新) 防災備蓄基地新築工事**  
令和8年度運用開始予定



イメージ図

# 1. 安全・安心のまちづくり

## 02 大矢部みどりの公園 新規オープン

拡充

746,930 千円

建設部  
公園管理課

民間事業者と連携し、自然・歴史などの唯一無二である特徴を最大限活かした整備・運営を行います。災害時における物資配送拠点としての機能を加えるとともに、市民などの交流拠点の創出を図ります。



|           |             |
|-----------|-------------|
| (拡) 令和7年度 | 事業者選定、設計・整備 |
| 令和8～9年度   | 設計・整備       |
| 令和9年度以降   | 供用開始        |

# 1. 安全・安心のまちづくり

## 03 避難所の資機材整備

拡充

0 千円

市長室  
危機管理課

令和6年度補正予算：53,906千円

震災時避難所の環境改善のため、飲料水を確保するための応急給水タンクや、車いす利用者も安心して利用できる介護用組み立てトイレ、トイレ用の照明などを新たに整備します。

また、旧坂本コミュニティセンターを大規模災害発生時における他自治体からの応援職員の受け入れ拠点として活用するため、簡易ベッドを整備します。



# 1. 安全・安心のまちづくり

## 04 三次福祉避難所に対する 備蓄物品等の助成

新規

8,500 千円

民生局福祉こども部  
障害福祉課  
介護保険課

災害時に特別な支援が必要な高齢者や障害のある方の避難所となる、「三次福祉避難所」を開設する民間施設（高齢者施設・障害者施設）を支援することで、災害時の受入体制を強化します。

### （新）備蓄物品等の購入費用を助成

高齢者施設 29施設

障害者施設 14施設

#### <助成対象>

- ・食料や衛生物品等の備蓄品
- ・簡易ベッドや発電機などの防災機材



# 1. 安全・安心のまちづくり

## 05 防災キッチンカーの配備

新規

10,000 千円

市長室  
危機管理課

民間事業者と三浦半島4市1町との広域防災連携により、キッチンカーを配備します。

これにより、災害時には4市1町の避難所へ温かい食事を迅速に提供できるようになります。

また、大規模災害が発生した場合には、被災地へ派遣し、温かい食事を提供します。

平時には防災訓練や各種イベントにも参加し、市民に防災意識の啓発を行います。



# 1. 安全・安心のまちづくり

## 06 防災トイレトレーラーの導入

新規

30,000 千円

市長室  
危機管理課

災害時だけでなく、平時も使用できるトイレトレーラーを導入して、「いつでも」・「誰でも」安心してトイレを使用できる環境を整備します。

大規模災害が発生した時には、トイレ支援につけ、本市が被災した時には、支援を受けられるネットワークの構築を目指します。

平時は防災訓練や各種イベントにも参加し、市民への啓発に努めます。



# 1. 安全・安心のまちづくり

## 07 広域連携の推進

新規

15,000 千円

経営企画部  
企画調整課

能登半島地震をきっかけに、大規模地震発生時に三浦半島4市1町で、連携して対応していくため、どのような課題があり、どのような対策が必要となるかについての調査・検討を進めます。

また、三浦半島4市1町の共通課題の解決、様々な分野での助け合い、効率的な行政運営の実現に向け、必要な調査・分析も進めます。

### (新) 広域防災に関する研究・調査

- ・ 三浦半島4市1町による広域防災体制の在り方
- ・ 大規模地震発生を想定した拠点整備の必要性調査

### (新) 共通課題の解決、広域連携の推進に向けた調査

- ・ 情報収集、調査・分析  
(防災対策、脱炭素・ブルーカーボン、施設の共同利用、その他広域的な課題など)

# 1. 安全・安心のまちづくり

## 08 防災行政無線の更新

拡充 1,267,669 千円

市長室  
危機管理課

災害時に迅速かつ正確な情報伝達を確保するため、防災行政無線を更新します。屋外スピーカーを高性能化することで放送内容がより聞こえやすくなります。併せて登録した電話番号に放送内容を提供する配信サービスを開始します。

令和7年度 設計・親局整備  
令和8年度 屋外子局整備  
令和9年度 屋外子局整備



イメージ図

# 1. 安全・安心のまちづくり

## 09 衛星通信機器 スターリンクの整備

災害時に地上通信インフラの停電や故障によりインターネットサービスが使えなくなった場合でも、衛星通信を利用して災害情報の収集や連絡手段として活用します。

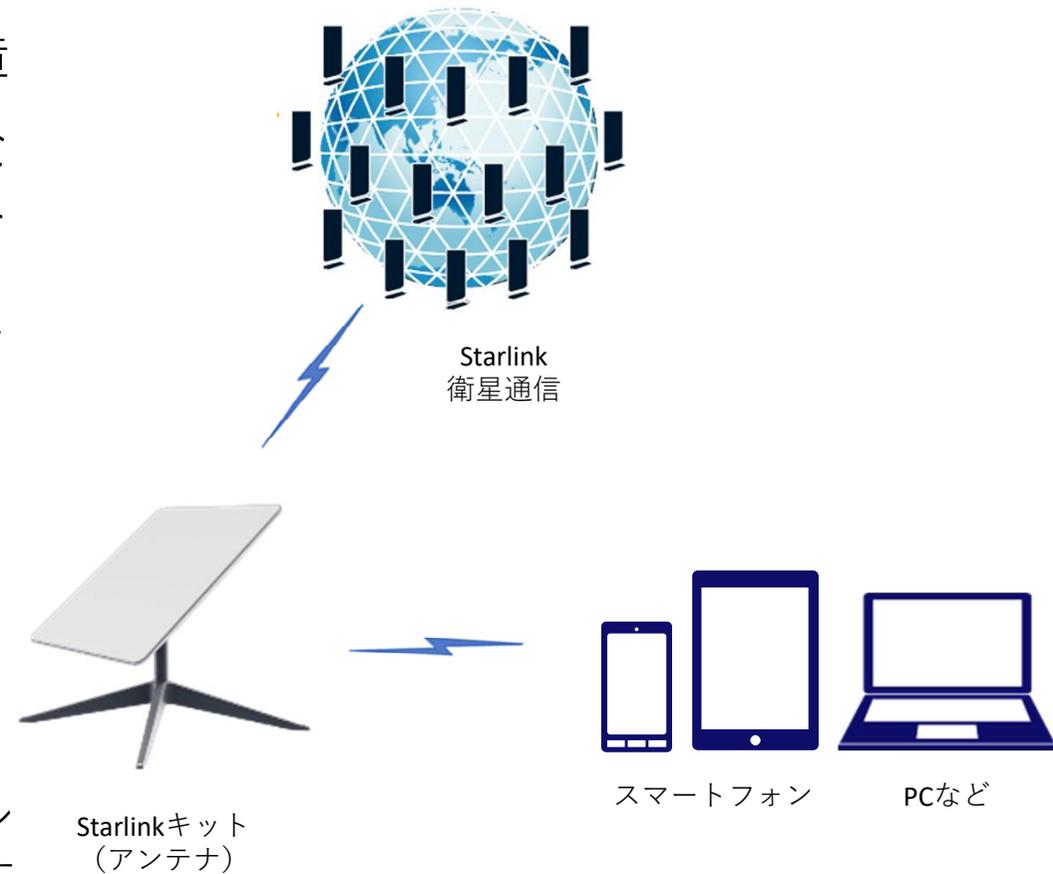
**(新) 災害対策本部に2台導入**

※スターリンクは、スペース エクスプロレーション テクノロジーズ コーポレイションの登録商標です。

新規 1,128 千円

令和6年度補正予算：1,297千円

市長室  
危機管理課



# 1. 安全・安心のまちづくり

## 10 消防総合訓練センターの改修

拡充

419,809 千円

消防局  
総務課

市民の命を守るため、消防総合訓練センターを消防職員の災害対応力の強化につながる実践的な訓練施設となるように改修します。

(拡)令和7年度 訓練塔解体工事・設計  
令和8年度 訓練塔新築工事(仮)



# 1. 安全・安心のまちづくり

## 11 救急体制の整備

拡充

10,080 千円

消防局  
救急課

令和6年度補正予算：49,878千円

近年の救急要請の増加に対応するため、救急隊を1隊増やし、救急搬送体制を強化します。

(拡)令和6年度 高規格救急自動車等購入  
令和7年度 救急隊員を増員



# 1. 安全・安心のまちづくり

## 12 市役所本庁舎の災害対策

拡充 1,567,124 千円

総務部  
総務課

災害時に拠点となる市役所本庁舎の機能を維持するために必要な設備を整備します。

### (新)非常用発電機の機能向上

- ・ 発電量 1,250kwh→1,400kwh
- ・ 稼働時間 20時間→72時間
- ・ 津波被災時にも拠点機能を維持

令和7・8年度 発電機更新・増設工事

#### 停電時

#### 【現状】 地下発電機のみ

- ・ 災害時の電力稼働時間 20時間



#### 【更新後】 地下発電機 + 屋上発電機

- ・ 災害時の電力稼働時間 72時間
- ・ 津波被災時にも災害対応可能

# 1. 安全・安心のまちづくり

## 13 北消防署追浜出張所の移転・統合

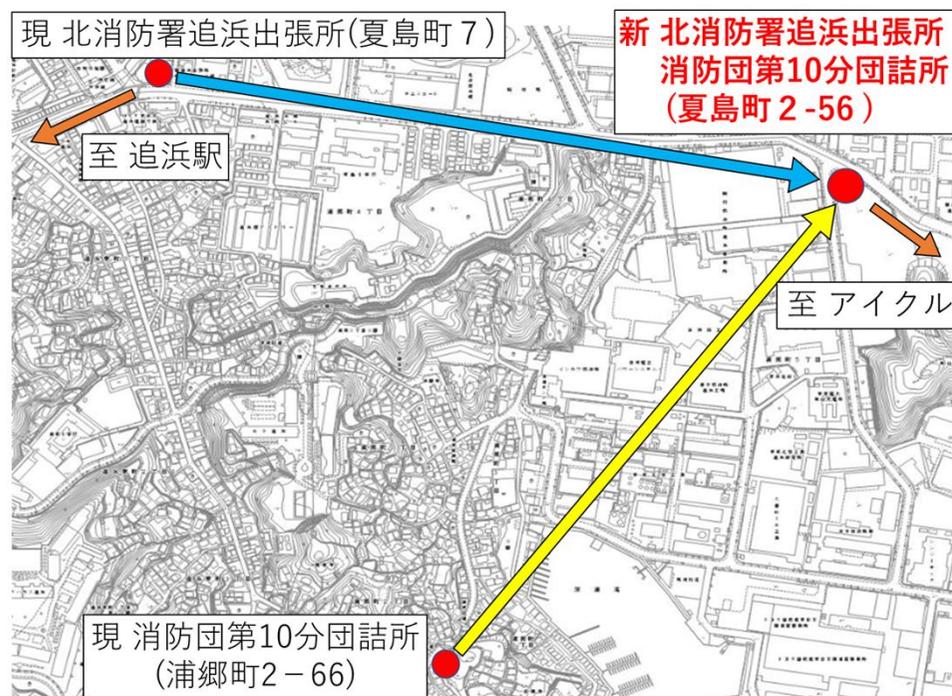
拡充

474,618 千円

消防局  
総務課

老朽化が進んでいる北消防署追浜出張所と消防団第10分団詰所を移転・統合します。新庁舎は、地域性に応じた適正な部隊編成、女性隊員に対する環境整備、訓練スペースの確保、地震対策を考慮し、消防体制の充実強化を図ります。

(拡)令和6・7年度 新築工事



# 1. 安全・安心のまちづくり

## 14 火災予防分野におけるDXの推進

拡充

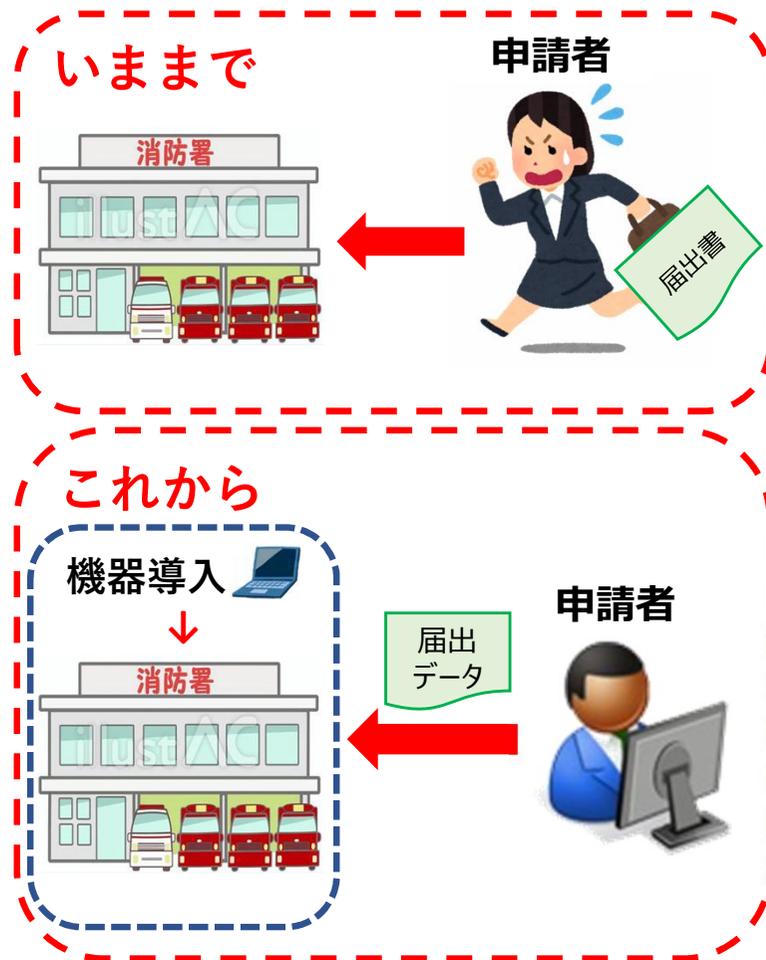
6,788 千円

消防局  
予防課

消防局および各消防署で受け付けている各種届出について、電子申請の対象となる届出の範囲を拡大して、市民サービスの向上を図ります。

### (拡) 電子申請に対応するための機器の導入

- ・ 専用PC、ソフト等を購入し設置
- ・ 消防用設備設置に係る届出の受理開始
- ・ 拡大範囲について市HP等で広報



# 1. 安全・安心のまちづくり

## 15 犯罪被害者等への日常生活支援の充実

拡充

180 千円

民生局地域支援部  
市民生活課

犯罪被害による精神的苦痛等により、食事を  
用意することに支障が生じている方に対し、  
配食サービスを利用した際の費用の一部を  
助成します。

犯罪被害者等支援  
シンボルマーク  
「ギュっとちゃん」



### (拡) 配食サービス利用支援

- ・ 補助上限 1人当たり1回1,000円まで、最大30回分を補助

## 2. 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり

### 01 重層的な支援体制の拡充

拡充

52,567 千円

民生局福祉子ども部  
地域福祉課

※ 既存事業の再編を含む

地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応するため、対象者の世代や属性を問わない相談支援、多様な参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に行います。

#### (新)重層事業連絡員による連携強化

市職員を重層事業連絡員に指定し、市役所内外の連携体制を強化

#### (新)市内の相談支援機関や地域の活動団体を検索できるシステムの導入

横須賀市LINE公式アカウントを活用した相談受付

AIを活用した相談機能の充実

## 2. 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり

### 02 若年がん患者の在宅療養を支援

新規

1,055 千円

民生局健康部  
健康管理支援課

40歳未満の末期がん患者の方が、  
住み慣れた自宅で最期まで安心して  
自分らしく生活できるよう、  
在宅療養に必要な経費の一部を助成し、  
患者とその家族の負担を軽減します。

**(新) 福祉用具のレンタル費用などを助成**  
**1か月当たり54,000円（上限）**



## 2. 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり

### 03 若年がん患者等の にんようせい 妊孕性温存治療を支援

新規

629 千円

民生局健康部  
健康管理支援課

若い世代のがん患者等が、子どもを産み育てるという将来への希望をもって治療に取り組めるよう、妊孕性温存治療に関する経費の一部を助成し、患者とその家族の負担を軽減します。

(新) 治療に向けたカウンセリング費用を助成  
最大10,000円

(新) 卵子等の凍結保存の更新費用を助成  
最大30,000円



# 2. 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり

## 04 障害者雇用の場 「はーとふる農園」の誘致

新規

0 千円

財務部  
FM推進課

令和6年度補正予算：52,900千円

未利用地を活用し、民間事業者が運営する障害者雇用型農園を誘致し、障害のある方の雇用機会の拡大などを目指します。

|          |           |
|----------|-----------|
| (新) 開設場所 | 浦賀火葬場跡地ほか |
| 開設時期     | 令和7年8月    |
| 雇用の創出    | 約60名      |



ビニールハウス内でベビーリーフなどの栽培を行う。

# 2. 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり

## 05 社会的養護自立支援拠点の開設

拡充

7,080 千円

民生局こども家庭支援センター  
こども家庭支援課  
(児童相談課)

社会的養護経験者等 (\*1) の孤立を防ぎ、適切な支援につなぐため、相互交流の場を提供し、相談や関係機関との調整を行う拠点を開設します。

### (拡) 社会的養護自立支援拠点の開設

- ・ 相互交流の場を提供
- ・ 生活や就労に関する情報提供や相談支援
- ・ 令和8年1月開所予定

\* 1 : 児童養護施設や里親家庭等で養育を受けた方。また、不適切な養育環境下にあいながらも、これまで公的支援につながらなかった方を含む。



社会的養護経験者等



社会的養護自立支援拠点事業所



情報提供や相談支援



相互交流の場の提供



# 2. 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり

## 06 社会的養護経験者への進学支援

社会的養護経験者（\*1）の進路の選択肢を広げ、大学等の途中退学を防ぐため、進学後の生活を支援します。

### （新）進学後生活費助成

社会的養護経験者が大学等に進学した後の生活費（家賃相当額）を助成します。（\*2）

\*1：児童養護施設や里親家庭等で養育を受けた方。

\*2：日本学生支援機構の奨学金給付を受けていること等の条件があります。

新規

6,960 千円

民生局こども家庭支援センター  
こども家庭支援課

施設等を退所後に単身で生活する場合、日本学生支援機構の奨学金のみでは生活が成り立たない実態があります。そのため、生活費等を確保するためにアルバイト中心の生活になり、学業が疎かになってしまうことがあります。



生活費（家賃相当額）を助成

生活費（家賃相当額）の支援により、進路の選択肢が広がります。その後、大学等で学業に専念し、卒業・自立に向かうことを支援します。



## 2. 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり

### 07 生活困窮世帯の子どもへの学習支援

拡充

28,895 千円

民生局福祉こども部  
生活支援課

貧困の連鎖を食い止めるため、生活困窮世帯（就学援助世帯）の子どもの学習機会を確保します。

**（拡） 中学校 2 年生の対象地区**

3 地区 → 9 地区

**（拡） 中学校 2 年生の支援人数**

18人 → 64人



## 2. 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり

### 08 終活等支援の対象者への 家庭訪問の拡充

拡充

3,408 千円

民生局福祉こども部  
地域福祉課

横須賀市が全国に先駆けて実施してきた終活等支援（エンディングプラン・サポート）事業を拡充し、登録者が元気な時から関係を構築し、認知症等により判断能力が不十分となった後も円滑な意思決定を支援します。

#### (拡) 登録者への家庭訪問の実施

市民後見人養成講座修了者を訪問相談員として家庭訪問。

認知症等により、後見人が必要となった場合、スムーズに後見活動開始。

#### ※終活等支援事業

低所得で頼れる身寄りがない単身者のうち、葬儀や納骨等、将来に不安を感じている方を対象に、終活支援プランの策定や安否確認の家庭訪問を実施

## 2. 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり

### 09 法人後見事業立上げの支援

新規

600 千円

民生局福祉こども部  
地域福祉課

成年後見制度における後見人の人材不足を補うため、市民後見人の養成に加えて法人後見事業を立ち上げた社会福祉法人およびNPO法人に対し、法人後見事業の立上げ費用を助成します。

#### (新) 法人後見等を受任した法人に対する補助

1 法人当たり 300千円

## 2. 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり

### 10 生活困窮者に対する低廉な 家賃の住宅への転居費の支給

新規

14,075 千円

民生局福祉こども部  
生活支援課

収入が著しく減少した生活困窮者の家計改善のため、低廉な家賃の住居などへの転居費用を支給します。

#### (新)転居費用の支給

- ・ 対象者 配偶者と死別し、世帯の年金収入が減少した高齢者  
疾病等で離職し就労収入を増やすことが難しい方 など
- ・ 支給対象 礼金や仲介手数料・家財の運搬経費などの  
費用を支給（上限あり）

## 2. 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり

### 11 リカバリーカレッジの啓発の推進

拡充

50 千円

民生局健康部  
保健所保健予防課

精神保健福祉の新しい取り組み「リカバリーカレッジ」を、専門のNPO法人と連携して周知啓発し、精神障害者の豊かな地域生活の回復を支援します。

「リカバリーカレッジ」  
治療的なアプローチではなく、精神的な困難を経験した人と精神保健を学んだ専門職などが相互に学びあう場

(拡) リカバリーカレッジをテーマとした「こころの健康づくり教室」の開催



# 2. 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり

## 12 手話通訳者の派遣

拡充

5,802 千円

民生局福祉子ども部  
障害福祉課

聴覚障害者が安心して生活できるよう、情報保障を担う手話通訳者および要約筆記者を確保するための派遣料を増額し、聴覚障害者が必要な情報を円滑に得られる体制を強化します。



### (拡)手話通訳者派遣料の増額

|        |                      |        |                      |
|--------|----------------------|--------|----------------------|
| 4 時間まで | 4 時間超えた場合<br>1 時間につき | 2 時間まで | 2 時間超えた場合<br>1 時間につき |
| 4,400円 | 1,100円               | 4,800円 | 1,300円               |

# 3. 人生100年時代に向けた健康づくり

## 01 スマートシティの推進

新規

11,880 千円

経営企画部  
デジタル・ガバメント  
推進室

健康分野を中心に、デジタル技術を活用したまちづくりを進め、市民一人ひとりの暮らしの質の向上を図ります。

### (新)ヘルスケアデータ分析システム構築

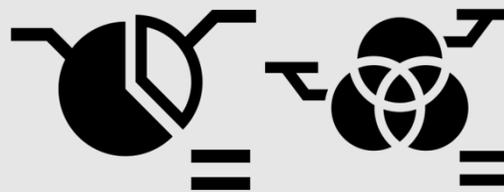
市民の健康データを活用し、重症化を予防することを最優先に、より効率的・効果的な健康支援事業の実施を目指します。

安心して健康な生活が送れるようなまちを実現

①市民の健康データを活用



②重症化予防の分析



③より多くの市民に、よりの確に提供できる健康支援事業の検討



# 3. 人生100年時代に向けた健康づくり

## 02 ヘルスケアデータ分析システムを活用した保健指導

新規

9,488 千円

民生局健康部  
健康増進課

市民の健康データを用いたシステムを活用し、これまで気づけなかった糖尿病発症リスク者を把握し、保健指導を実施します。

**(新) 市民の健康データを用いた糖尿病発症リスク者の分析**

**(新) 糖尿病の原因である高血糖に効果的な保健指導**

対象者：分析の結果抽出されたリスク者のうち  
既存の保健指導事業の対象外の方



# 3 人生100年時代に向けた健康づくり

## 03 骨密度検診の受診の促進

拡充

12,499 千円

民生局健康部  
健康管理支援課

骨粗しょう症を予防し、健康寿命の延伸を図るため、リスクが高い世代を対象として検診の受診を促進します。

- (拡) 40歳から75歳までの5歳刻みの女性を対象に受診を勧奨
- (拡) これまでの横須賀市健診センターに加え、市内医療機関での検診を開始



# 3 人生100年時代に向けた健康づくり

## 04 若年世代への健診受診・ 保健指導の実施

新規

93 千円

民生局健康部  
健康管理支援課  
健康増進課

生活習慣病に関する健診を若い頃から受けられるようにすることで、自身の生活習慣を見直す機会を提供します。

### (新) 健診の受診勧奨

対象者：39歳の国保被保険者

### (新) 特定健診相当の健診の実施・生活習慣の改善が必要な方への保健指導

対象者：国保被保険者のうち、横須賀市健診センターにて  
成人健診を受診する方

# 3 人生100年時代に向けた健康づくり

## 05 带状疱疹ワクチン 予防接種の実施

新規

293,751 千円

民生局健康部  
保健所企画課

带状疱疹の発症予防を目的として、65歳以上の高齢者を対象とした予防接種を開始します。

### (新) 高齢者带状疱疹予防接種の実施

[対象者]

65歳以上の5歳刻みの方  
(100歳以上の方は全て対象)

[本人負担額]

生ワクチンの場合 3,000円  
不活化ワクチンの場合 7,000円×2回



# 3. 人生100年時代に向けた健康づくり

## 06 慢性腎臓病（CKD）病診連携システムの強化

拡充

4,520 千円

民生局健康部  
健康管理支援課

特定健診の結果によって慢性腎臓病のリスクがあると判断された方が、早い段階で専門的な医療を受けられるように、専門機関への紹介基準を変更します。

**（拡） 専門機関への紹介基準の判定項目に「血尿の有無」を追加**



特定健診実施機関  
(かかりつけの医療機関等)



紹介基準（基準変更）に基づき、専門機関への受診を指導



腎専門医が  
精密検査を実施

# 3. 人生100年時代に向けた健康づくり

## 07 健康アプリを使った キャンペーンの実施

拡充

1,669 千円

民生局健康部  
健康増進課

「楽天ヘルスケア」アプリを活用し、ポイントの特典とするキャンペーンを実施することで、「歩く」習慣の定着を促し、生活習慣病の予防につなげます。



**(拡) 歩数などの条件達成で期間限定の楽天ポイントを付与**

| 年度    | 特典             |
|-------|----------------|
| 令和6年度 | 新規登録者100ポイント   |
| 令和7年度 | 全員で50万ポイントをシェア |

# 4. 新しいつながりによるコミュニティの活性化

## 01 西地区における 新たな「憩いの家」の開設

新規

101,126 千円

民生局地域支援部  
西行政センター

西地区内の施設廃止に伴い、大楠幼稚園跡施設に、世代を問わず地域の誰もが自由にくつろぐことができる「憩いの家」を開設します。

**スケジュール** 令和7年度 改装工事  
令和8年度 オープン

### 施設概要

住民同士の交流や、くつろぐことのできる「**居場所スペース**」  
卓球等の室内運動ができる「**軽運動スペース**」  
子育て中の保護者と子どもが集う「**未就学児専用スペース**」ほか



# 4. 新しいつながりによるコミュニティの活性化

## 02 行政センターの 市民サービス向上と効率化

新規

39,927 千円

民生局地域支援部  
地域コミュニティ支援課

全行政センターの窓口業務を改善・統一し、  
業務の効率化を図ることで、より市民サービスを向上させます。

### 業務の改善・統一

#### 1 窓口業務の改善・統一

- (1) 統一業務マニュアルを整備・発展させ、サービスレベルを向上
- (2) 全行政センター職員が統一接遇研修を受講し、接遇レベルを更に向上させ統一
- (3) 行政センターの業務を棚卸し、電子化・効率化により分かりやすい案内・説明を実現
- (新)(4) 外線電話をコールセンターで受信するなど、総務業務を統合

#### 2 行政センター間の支援体制を構築

各種改善・統一により、急な混雑が発生した行政センターを、他の行政センター職員が支援可能に

### 市民サービスの向上

#### 1 窓口での待ち時間を短縮

- (1) 窓口業務の効率化により、待ち時間を短縮
- (2) 市ホームページに、全行政センターの待ち時間を公開

#### (新)2 オフィス・スマート化※

- (1) 見やすくわかりやすい案内表示を設置
- (2) 快適な待合スペースを整備
- (3) プライバシーに配慮し座って話せる窓口の整備



イメージ

※令和7年度は行政センター1館で実施  
効果を踏まえ、他の行政センターへ展開

# 4. 新しいつながりによるコミュニティの活性化

## 03 若者と職員の協働によるキャリアアップ支援、若者施策の推進

新規

10,189千円

経営企画部  
企画調整課  
都市戦略課

※一部、新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型）を活用予定

高校生と職員による協働プログラムや実業務を担うチーム

「はたらく課」を庁内に設置します。

「はたらく課」では起業家による講義やバーチャル空間を含めた意見交換を定期的に行い、高校生のキャリアアップ支援、職員の意識向上を図ります。意見交換等で得られたアイデアを新規政策立案や既存施策のブラッシュアップに活かします。

また、包括連携協定を締結している関東学院大学や神奈川大学と協働する機会を設け、学生の考えや意見を施策立案に結びつけます。



Yokosuka Peace Project

(新) 高校生と職員の協働（はたらく課の運営）

(拡) 大学連携

Yokosuka Peace Projectの開催



※イメージ図

# 4. 新しいつながりによるコミュニティの活性化

## 04 旧田浦月見台住宅を 活用した地域活性化

民間事業者との連携により、今ある建物を職住一体型の店舗兼住宅へリノベーションして新たな生活の拠点を作り、地域コミュニティの活性化を図ります。

### 市営住宅跡地を活用した拠点づくり

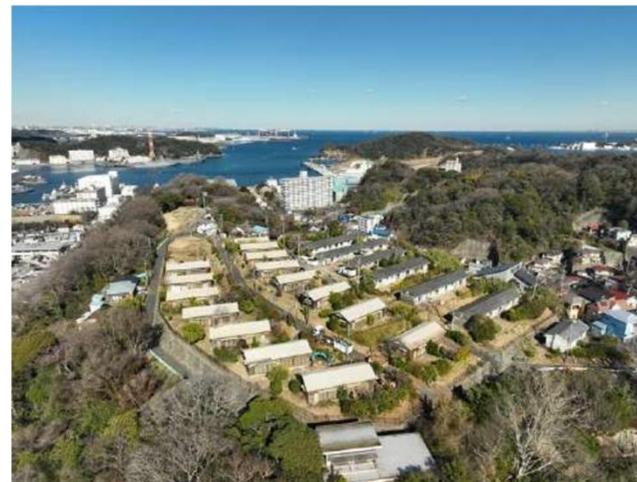
スケジュール 令和6年度～令和7年度

リノベーション工事

令和7年度7月 オープン予定

1,024 千円

都市部  
まちなみ景観課



# 5. 地域の支え合いに対する支援

## 01 町内会活動の支援

拡充

4,380 千円

民生局地域支援部  
地域コミュニティ支援課

町内会・自治会の負担を軽減するため、会長が行政との連絡や市主催会議の出席のために要する通信費・交通費の一助として、交付金を増額します。

**(拡) 全町内会・自治会に交付しているコミュニティ活動推進交付金に  
会長活動費分を上乗せ**

- ・ 1 町内会当たり12,000円 (1,000円×12月)